

# 学習指導案の形式（例） 小学校理科

## 第○学年○組 理科学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

### 1 単元名 ○○○○○○○○

◇小学校学習指導要領に示す理科の「第2 各学年の目標及び内容 2 内容」の項目を「内容のまとめ」という。小学校理科は全31の内容のまとめ（例：物と重さ、風とゴムの力の働き等）で構成されており、内容のまとめを単元名として書く。または、教科書記載の言葉を単元名として書く。

### 2 単元の目標

◇学習指導要領の「内容のまとめ」の記載事項を踏まえて設定する。

【例1 目標を3観点で表現する場合】  
◇育成を目指す3つの資質・能力に分けて書く。

- 例：（1）「知識及び技能」に関する目標（例：～理解する。～身に付けること。等）  
（2）「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～表現すること。等）  
（3）「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～態度を養う。等）

【例2 目標を一文で表現する場合】  
◇小学校学習指導要領解説理科編の各学年の内容の解説には「ここでは、児童が・・・育成することがねらいである。」として、その内容についての学習のねらいが示されている。この学習のねらいの文中には、3観点が含まれているため、単元の目標となり得る記載となっている。

例：小学校学習指導要領解説理科編「・・・育成すること」の部分抜き出して書く。

### 3 単元の評価規準

◇「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準は、当該単元で目標とした資質・能力等の文末を「～している。」として作成する。  
◇「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準については、「（内容のまとめ）についての事物現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。」「（内容のまとめ）について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。」と2つに分けて設定することも考えられる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①～を理解している。 ②～を理解している。 ③～の器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	①～問題を見だし、表現しているなどして問題解決している。 ②～得られた結果を基に考察し表現するなどして問題解決している。	①（内容のまとめ）についての事物現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②（内容のまとめ）について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
◇知識と技能の側面を分けて記載する。	◇実験の前・後で分けて記載する。	

4 指導と評価の計画（全○時間）

◇「3 単元の評価規準」の観点と一致させ、番号でつなげて書く。

次	時	ねらい・学習活動	重点	記録	評価規準及び評価方法
一	1	◇児童の立場で書く。	思		思考・判断・表現①／【ノートの記述】 ・～差異点や共通点を基に、問題を見いだすことができているかを確認する。
	2		知		知識・技能②／【ワークシートの記録】 ・～分かりやすく記録しているかを確認する。
二			思	○	思考・判断・表現①／【ノートの記述】 ・～差異点や共通点を基に、問題を見だし表現しているかを確認する。
		◇「重点」には、その時間に児童の学習状況を重点的に評価する観点を書く。理科では、実験等の活動があるため、より明確に評価できるように「重点」を位置付けている。 ◇「知」は「知識・技能」、「思」は「思考・判断・表現」、「態」は「主体的に学習に取り組む態度」を示している。			◇「記録」の欄の「○」印は、評価規準に照らして、児童全員の学習状況を記録に残す場面として示している。「○」印がない時間は、児童の学習改善や指導改善に生かす評価を行う。
三					

5 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国及び県学力・学習状況調査との関連

◇指導者の立場で書く。

- ◇単元観…学習指導要領の記述から「単元を通して身に付けたい力」について整理すると共に、「単元の系統性」（何を学んできたのか、今後どんな学びにつながるのか）も併せて整理する。その際、教科書教材や資料集等の分析を行い、その単元の難しさを把握し、児童の学習課題を把握して書く。
- ◇児童観…単元や本時に関する「既習事項の定着状況」と「学習に対する学級の課題」を児童の実態として記述し、整理する。
- ◇指導観…単元観と児童観で記述した「学習上の課題」を克服するための指導者の意図や思いを「学習指導のためのアプローチ」として具体的な指導・支援の手立てを書く。これが研究授業の「研究仮説」や「提案性」につながる。
- ◇研究主題との関連…研究主題を簡潔に記述し、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。
- ◇全国及び県学力・学習状況調査との関連…現状と課題について記述すると共に、本単元で意図する事項について書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

- ◇「2 単元の目標」「4 指導と評価の計画」との整合を図る。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇児童の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1	○	
◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
2 (1)	<p>めあて</p> <p>◇児童の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。</p> <p>○例：～することで、～できるようにする。</p>	◇本時の目標と評価規準を具体的に書く。抽象的ではなく、実際可能なレベルで具体化する。
◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。		◇評価の場面は1、2箇所を絞る。
(2)	<p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に学習を進めるための手だて</li> <li>・児童が対話的に学習を進めるための手だて</li> <li>・児童が学習を深めるための手だて</li> <li>・児童一人一人の学習状況に応じた手だて</li> <li>・予想される児童の反応</li> <li>・資料提示のタイミングや方法</li> <li>・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物 等</li> </ul> <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される児童への手だての例を示す。</p>	◇評価規準に合わせて、評価の観点を明記する。
3  ◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、児童の学習活動を具体的に書く。 ◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード（授業5）」を参考に	<p>まとめ</p> <p>◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。</p>	◇評価方法を具体的に書く。
5	○	○例：～している。 [評価の観点] (評価方法) ◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシートの記述 等
	◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考に	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿の例 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

(3) 準備物

例：ビーカー、温度計、金網

- ◇ワークシート、実験プリント、その他実験器具等必要な準備物を書く。